

県内企業の森林経営管理技術者育成による事業展開

(2024オープンカレッジ・プロジェクトシンポジウム発表事例から)

2000年生まれの若者が新卒入社 「ゼロからのスタート」

林業の知識や現状を知らなかった→みやぎ森林・林業未来創造カレッジを知り
(思い) ●基礎知識、木材の循環利用を学びたい
●他者との交流で見聞を広げたい

会社の理解が得られ入社と同時にカレッジの研修を受講

- スタートアップ研修（4月、基礎知識、チェーンソー・刈払機の資格取得）
- 森林経営管理技術者養成研修（5月～12月）
- 広葉樹ビジネス講座、育林ビジネス講座（6月～12月）

チャレンジ！

社内の先輩方の指導と相談しやすい環境で経営の多角化や効率化に貢献

- ①低コスト再造林を提案し実践：森林組合との協働による一貫作業、チップ用材の搬出で地拵経費の低減
- ②社有林へ早生樹（ユリノキ）や有用広葉樹（オニグルミ）を植栽
- ③町内の耕作放棄地の状況（水源涵養機能低下、獣害）を懸念し、造林を計画
- ④QGIS、GNSS、CS立体図を森林調査、境界確認、測量に活用
- ⑤広葉樹市場材適地の抽出と生産・販売：市場代表者を招聘し現地下見と採材調整